

# 会員の作品

## (株)千都建築設計事務所(千葉支部) 道の駅「季楽里あさひ」



### ■設計コンセプト

旭市道の駅「季楽里あさひ」は、旭市の農業振興、地域振興、観光拠点、防災機能の活用を目的に計画された。特に未曾有の被害をもたらした東日本大震災より、被災者の再建を第一に地域経済の再興のため道の駅整備が位置づけられた。

施設には、旭市の観光や文化を始めとした情報発信機能を核として、地産地消の推進に資する直売所及びレストラン、体験・交流その他機能を合わせ持った地域の拠点としての機能と道の駅を単なる道路の休憩施設や地域連携施設としての機能だけでなく、防災機能にも配慮した安全で安心な施設とすることが求められた。

建物の外観は、旭市の海岸に昇る太陽をイメージした赤茶色を採用している。これは、再興に向けてのイメージを強調し、情報発信基地としてのアンテナ機能を持つ建物の個性を表現している。また、外観には木調の素材を合わせることで市民に親しまれる施設を目指した。

24時間利用する道の駅の特徴を生かし、夜間にはシンボルタワーからの光が周辺に光を落す。また、多角形のシンボルタワーと相対するように建物内部へと光を導く大きなハイサイドライトを設けている。形状の異なるボリュームが水平ラインを強調した底の上部から突き出し、相互間の木調ルーバーと相まって建物の視認性と、軽快感を与えている。

(株)千都建築設計事務所 設計担当 藤原 岳史

建物名称:道の駅「季楽里あさひ」

所在地:千葉県旭市

発注者:旭市

設計・監理:株式会社千都建築設計事務所

施工:株式会社伊藤工務店

主体構造:鉄骨造

延床面積:1,550㎡

